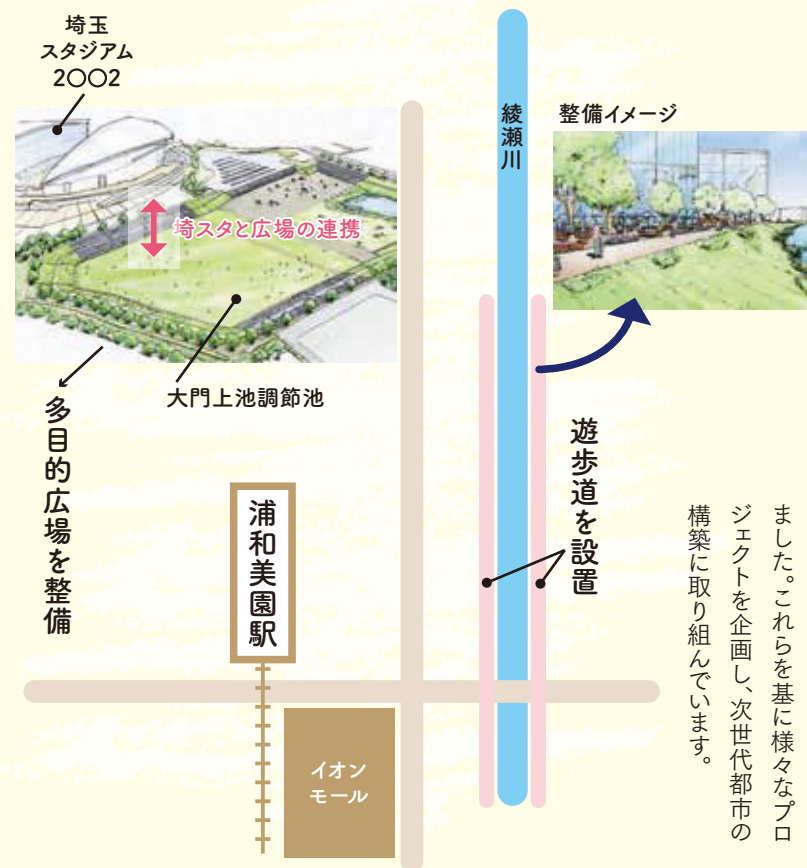


河川空間を生かしたまちづくり 美園地区がより暮らしやすく

平成13年に埼玉高速鉄道線が開通してから発展を続けている美園地区。埼玉スタジアム2002があり、サッカーファンが集まるまちです。現在、綾瀬川周辺に遊歩道を設置するなど、河川空間を活用したまちづくりが進んでいます。



住民や企業、大学と連携したまちづくり

美園地区は平成13年の浦和美園駅の開業と埼玉スタジアム2002のオープンで皮切りに都市開発が進んでいます。近年は「公民十学」連携による「スマートシティさいたまモデル」の構築に向けた取組が、先進的まちづくりシテイコンペで国土交通大臣賞を受賞するなど、各方面で評価されています。平成27年に開設

された「アーバンデザインセンターみその(UDCMi)」は、まちづくりのために活動する住民、地権者、事業者、行政、専門家などが協働して課題解決に取り組むためのまちづくり拠点です。ここを拠点に活動する「美園タウンマネジメント協会」と「みその都市デザイン協議会」という2つの連携組織が、まちの将来像や基本理念を示す「美園スタジアムタウン憲章」や空間デザインなどの方向性を示す「みその都市デザイン方針」などを策定してきました。これらを基に様々なプロジェクトを企画し、次世代都市の構築に取り組んでいます。

現在進められている取組の一つに、河川空間の利活用があります。美園地区を南北に流れる綾瀬川の周辺を、地域住民に開かれたスペースとして整備しようというプロジェクトが行われています。

みその都市デザイン方針

- 方針1** サッカー観戦者などの来街者をもてなすホスピタリティある環境と、日常的な賑わい・交流を創出する都市機能や活動を誘導しながら、市の副都心に相応しい都市環境を形成する。
- 方針2** 安心・安全で心地よい居住空間と、公共交通・歩行者・自転車を中心とした交通環境ネットワークを整えながら、健康を育み、スポーツ・レクリエーションに親しみやすい都市環境を形成する。
- 方針3** 見沼田圃や綾瀬川水系につながるみどりの回廊を形成しながら、安全・快適で落ち着いた雰囲気、美しい街並みを誘導し、低炭素・循環型の持続可能な都市環境を形成する。

美園スタジアムタウン憲章

街全体がスタジアムのような品格と活力にあふれ、一人ひとりがまちづくりのプレイヤーであり、サポーターとなるまち。

- 新価値創造都市・美園** 創造的な交流を通じて、新しい価値を生みながら成熟していくスタジアムタウン
- 多世代幸福都市・美園** 子どもから高齢者まで、地域の中で支え合い、健やかに過ごせるスタジアムタウン
- 次世代環境都市・美園** 豊かな自然に親しみ、人と環境にやさしい暮らしを未来に伝えるスタジアムタウン

まちづくりの基本理念

まちづくりワークショップやイベントに市民が参加

地域の意見を反映した計画を策定

平成29年度に住民も参加する全3回の「綾瀬川デザインワークショップ(意見交換会)」を実施し、オープンスペースとしての河川空間の有効活用による快適な都市環境の形成に向けた綾瀬川遊歩道等の整備・利活用について検討。整備イメージや維持管理の仕組みなどについて話し合い、ワークショップ案をまとめました。その後も検討を進め、平成30年3月に『美園スタジアムタウン：河川空間活用計画』を策定。地域住民や沿川施設利用者が

安心・安全・快適に回遊できる遊歩道の整備や、調節池底面に多目的広場を設置し、賑わい・交流の場とすることなどが取りまとめられました。これに基づき、平成30年春には先行区間の遊歩道整備に着工し、順次整備が進められています。また、地域一体となった「川まちづくり」の機運醸成に向け、遊歩道を活用し、身近な水辺に集い乾杯する全国的なソーシャルプロジェクト「水辺で乾杯」も平成30年より開催しています。さらに、令和元年から地域に愛される川としての環境づくり

を行う「綾瀬川サポーターズ」を募集。同年10月にはその1回目の活動となる綾瀬川遊歩道周辺の「清掃まち歩き」が行われました。綾瀬川サポーターズによる清掃活動は今後も定期的の実施予定です。また、大門上池調節池底面広場整備も始まり、令和2年度に供用開始予定となっています。広場を活用した地域活動の活発化も期待されています。

綾瀬川サポーターズ募集

遊歩道整備が現在も進行中の綾瀬川を、地域に愛される川として環境づくりを行う「綾瀬川サポーターズ」を募集しています。

活動内容: 2~3カ月に1度の綾瀬川遊歩道の清掃や除草、PR活動への参加。

登録対象: 美園地区周辺に在住、在勤、在学のみならず、または美園地区内で活動する団体などに所属する方

☎ UDCMiサポーターズ事務局
(一社)美園タウンマネジメント ☎048-812-0301
✉supporters@misono-tm.org



3回にわたって行われた「綾瀬川デザインワークショップ」。行政、企業、自治会関係者、住民らが参加し、意見交換が行われた。



中下:「水辺で乾杯」は全国各地で行われている。7月7日の夕方に水辺に集まり乾杯するというソーシャルプロジェクト。今年も開催予定。



新しい住民や事業者と共に地域の絆を育んでいきます



UDCMi
副センター長
岡本祐輝さん

美園地区では「スポーツ・健康」がまちづくりの重要なテーマに掲げられています。近年「ウォーカビリティ」といったキーワードが全国的にも注目されていますが、今回の遊歩道整備によって本地区の日常的な散策・回遊ルートの充実化が図られます。また、調節池底面の広場化により、隣接する埼玉スタジアムと連携してスポーツその他のイベント会場としての活用も大いに期待されるでしょう。

綾瀬川遊歩道は現在約1.7kmの区間が整備完了で、令和3年には全長約3.5kmが供用開始となる見込みです。現在工事中の調節池底面広場は東京2020オリンピックにはその一部を活用したイベント開催も検討されています。

美園地区は、開発の進展に応じて日々新しい住民や店舗などが増えていますが、「地域資源」であるこの遊歩道や広場の活用を通じて地域の協働・連携や「絆」を育んでいくことが、特に重要と考えています。地区外にも美園のファン・サポーターを増やしていければと思います。今後も取組を深めていきたいです。